

応募前から研究期間終了後まで一貫して受託研究の支援を行う

■概要

受託研究、研究助成金など外部資金の獲得推進及び支援等を行うため、以下の業務を実施している（図1）。

1. 外部資金の獲得推進

他機関からの受託研究、研究助成金の受け入れを拡大することにより、NICTが持つ技術の優位性を国の政策や社会の要請に対して発揮するとともに、NICT自らの研究開発能力の向上、他研究機関との連携強化、新たな技術シーズの創生につなげる。

2. 外部研究資金の適正な執行のための環境整備

受託研究、研究助成金による研究について、応募申請・契約・経理検査等の支援を行い、研究者の負担低減、手続きの適正化、業務の効率化を図る。また、研究経費の適正な執行・管理のための啓もう活動を行う。

3. 研究終了後の各種手続きの着実な実施

受託研究、研究助成金の終了後も続く、知財の報告や

取得資産の管理などの着実な実施を行う。

■平成29年度の成果

1. 外部資金の獲得推進

様々な研究資金制度について、内容・ルールを調査し、NICT内に情報提供するとともに、応募書類（約350件）のチェック、アドバイス、事務作業の支援等を行い、外部資金獲得の拡大を図った。また、応募要領等に関する説明会の開催、「外部資金獲得推進制度」の実施などにより、外部資金獲得のインセンティブ向上を図った。

平成29年度の外部資金獲得実績の概要を表1に示す（詳細については6.2参照）。

2. 外部研究資金の適正な執行のための環境整備

受託研究、研究助成金による研究について、契約締結、分担金の授受、実績報告等の事務手続き及び受託契約に係る検査対応作業の支援を行った。また、機関代表業務（応募取りまとめ、電子申請手続き等）を実施する

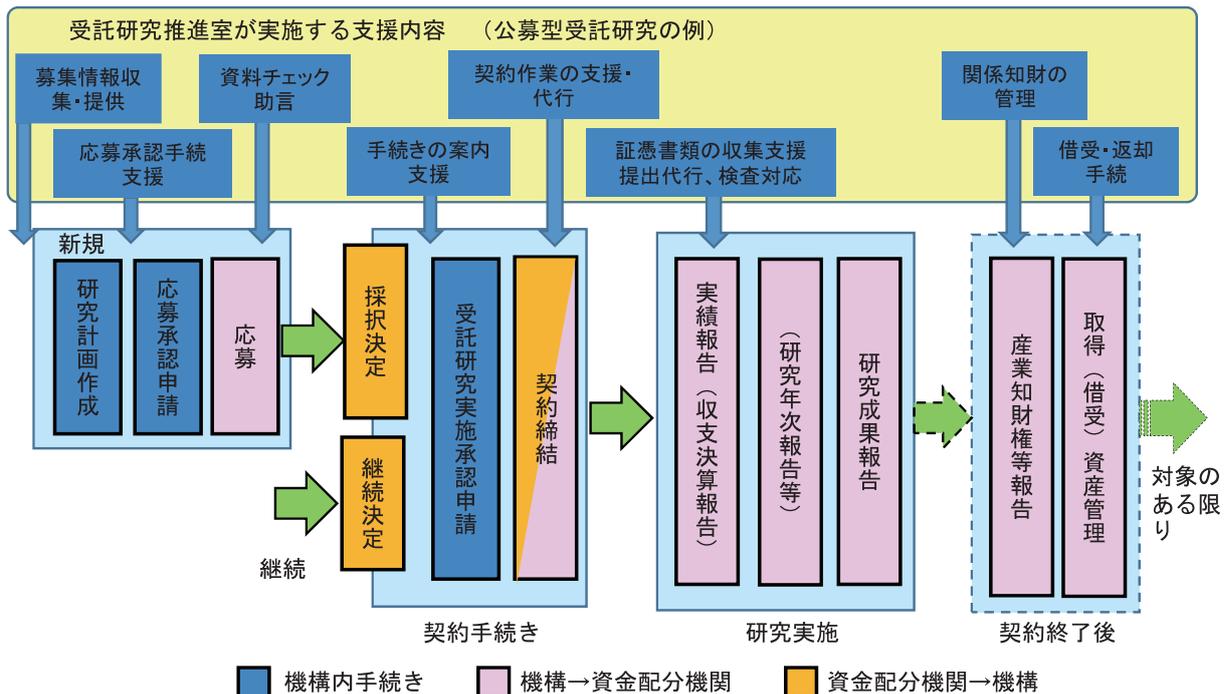


図1 受託研究推進室が実施する支援内容

表1 平成29年度外部資金獲得実績

受入形態		研究資金名	件数	獲得額(千円)
公募型	受託研究	戦略的情報通信研究開発推進事業（総務省）	6	55,250
		戦略的創造研究推進事業（独）科学技術振興機構	16	275,204
		電波資源拡大のための研究開発（総務省）	13	1,293,031
		戦略的イノベーション創造プログラム（内閣府等）	6	195,998
		その他の公募型受託研究	17	1,124,078
	研究助成	個人助成	科学研究助成事業（文部科学省、（独）日本学術振興会）	108
		その他の公募型研究助成制度	14	8,570
非公募型	電波利用料財源受託	標準電波（総務省）	1	561,028
	内閣府財源受託	指名による受託	7	218,960
	一般受託	国、大学、民間企業からの受託	3	19,994
計			191	4,168,094

とともに、資金配分機関に対する窓口として統括的な事務を行い、手続きの適正化、研究者負担の低減に努めた。

研究費不正を防止するため、競争的資金等に関するコンプライアンス研修（e-Learning）を実施するとともに、注意すべき事項を整理し、NICT内部Webに掲載・周知した。また、コンプライアンス講習会でも説明を行った。

応募・実施時には、チェック事項（研究エフォート、生体倫理等）の確認を徹底した。

受託研究等に係る契約事務・経理検査の支援に際して

は、研究費の適正な執行に留意し、コンプライアンス強化に努めた。

### 3. 研究終了後の各種手続きの着実な実施

受託研究に係るバイ・ドール条項に基づく知財の手続きを周知し、受託者が行う手続きを依頼するとともに、必要に応じて出願・登録・放棄の報告を行った。

また、委託元に対しての借受資産に関する手続き等を確実に履行した。